

校長通信(第2号)

令和7年5月12日
東京都立田無高等学校
校長 長嶋 浩一

1 教育実習事前指導を行いました。

本校では今年5名の教育実習生を受け入れます。令和7年4月23日、事前指導で、校長から訓示を行いました。以下、その内容です。

本日は、教育実習を始めるにあたり、いくつかの重要なポイントをお伝えしたいと思います。本校教職員を代表し、母校で教育実習を行うことを選んだ皆さんの決断をうれしく思っております。このことは、次世代の教育に大きな貢献をするものと考えます。

教育実習は、皆さんにとって貴重な学びの機会です。ここでの経験を通じて、理論と実践を結び付け、教師としてのスキルを磨いてください。実習では、次の5点に留意して臨んでください。

- 1 準備を怠らないこと：授業の計画や教材の準備は、成功の鍵です。しっかりと準備を行い、自信をもって授業に臨んでください。
- 2 生徒とのコミュニケーション：生徒たちとの信頼関係を築くことが重要です。彼らの意見に耳を傾け、理解しようと努めてください。
- 3 柔軟性をもつこと：授業中に予期せぬ事態が起こることもあります。その際には、柔軟に対応し、冷静に対処してください。
- 4 フィードバックを受け入れること：指導教員や同僚からのフィードバックは、成長のための貴重な情報です。積極的に受け入れ、改善に努めてください。
- 5 自己管理：教育実習は体力的にも精神的にも負担がかかることがあります。健康管理を怠らず、バランスの取れた生活を心がけてください。

皆さんの努力と情熱は、必ず生徒たちに良い影響を与えるでしょう。失敗を恐れず、積極的に挑戦してください。教育は試行錯誤の連続です。失敗から学び、改善していくことが重要です。

皆さんの成功を心から祈っています。本校での教育実習が皆さんにとって実り多いものとなり、将来の教育者としての道を切り開くことを願っています。頑張ってください。

2 第3学年保護者会を開催しました。

令和7年4月24日と5月8日に第3学年の保護者会を開催しました。

前者は、主に進路に向けた内容に特化した、体育館での全体会、後者は、学級単位での教室での懇談会でした。以下、全体会での校長あいさつです。

保護者の皆様、本日はお忙しい中、保護者会に御参加いただき、誠にありがとうございます。第3学年を迎えた子供たちにとって、進路決定の

重要な時期が近づいています。子供たちの未来を左右する大切な時期です。皆様の御協力が不可欠ですので、どうかよろしく願いいたします。

まず、進路決定のプロセスについてお話しします。子供たちはこれから、自分の進むべき道を選択することになります。大学進学、専門学校、就職等、様々な選択肢がありますが、どの道を選ぶにしても、しっかりとした準備が必要です。情報収集やオープンキャンパスへの参加、進路相談等を通じて、子供たちが自分に最適な選択をできるようサポートしてください。

次に、英検受験の意義についてお話しします。英検は、子供たちの英語力を客観的に証明するための重要なツールです。英検の受験により、子供たちの英語力が向上し、多くの大学等の受験においても有利になります。今年度の3年生は、都教育委員会の受験料補助を受け、7月に全員が外部会場で英検 S-CBT 方式で受験できるようになりました。これにより、英語の4技能（読む、書く、聞く、話す）を一日で検査できるため、子供たちの総合的な英語力を評価することができます。これには、お子様方が個別に申請すべき手続きがありますので、遺漏のなきよう、ご家庭でもお声掛けいただきますよう、お願い申し上げます。

保護者の皆様には、次の4点について御協力をお願いしたいと思います。

第一に、ご家庭での積極的な対話です。子供たちと進路について話し合い、彼らの考えや希望を理解してください。対話を通じて、子供たちが自分の選択に自信をもてるように御支援ください。

第二に、進路情報の共有です。保護者の皆様も進路に関する情報を収集して子供たちに提供し、様々な選択肢を検討できるように努めてください。オープンキャンパスや説明会への参加も有益な方法です。

第三に、精神的な支えです。進路選択は子供たちにとって大きなプレッシャーとなります。彼らの不安や悩みに寄り添い、毎日の会話や共通の活動を通じて、子供たちとの絆を深めてください。彼らの感情に共感し、信頼関係を築くことが何よりも大切です。

第四に、学校との連携についてです。学校では子供たちの進路選択をサポートするために、様々なプログラムや相談を提供しています。保護者の皆様も積極的に学校と連携し、子供たちの成長を支えていってください。定期的なコミュニケーションを通じて、学校と家庭が一体となって子供たちをサポートすることができます。

皆様の御協力に感謝し、今後も家庭と学校が一体となって子供たちの成長を支えていくことを願っています。何かご質問やご意見がございましたら、遠慮なくお知らせください。本日はよろしく願いします。

3 第2学年保護者会を開催しました。

令和7年5月2日に第2学年の保護者会を2学年各教室で開催しました。全体会は物理室からオンラインで中継、引き続き学級懇談会を実施しました。以下、全体会での校長あいさつの内容です

本日はお忙しい中、保護者会に御参加いただき、誠にありがとう

ございます。新学期が始まり、皆様の御協力を得て、子供たちが充実した学校生活を送ることができるよう努めてまいります。本日は大きく分けて四点、お話しさせていただきます。

最初に、中堅学年を迎える生徒たちに対する期待についてお話しします。中堅学年は、学業や部活動、友人関係など、様々な面で成長が求められる時期です。皆さんの子供たちがこの時期を通じて、自己を見つめ直し、さらなる成長を遂げることを期待しています。

次に、希望進路をかなえるための準備についてです。進路選択は、将来の夢を実現するための重要なステップです。次の3点に留意して、準備を進めてください。

- 情報収集：進路に関する情報を積極的に収集し、子供たちと共有してください。オープンキャンパスや説明会に参加することも有益です。
- 目標設定：具体的な目標を設定し、それに向けて計画を立てることが重要です。目標が明確であれば、努力の方向性も定まります。
- 学習計画：希望進路に必要な学力を身につけるための学習計画を立て、実行してください。定期的な見直しも忘れずに行うようにしましょう。

続いて、新たなお知らせです。本校は、今年度、東京都教育委員会より「**海外学校間交流推進校**」及び「**外部検定試験実施校**」の指定を受けました。これを受けて、本校ではすべての生徒が、年1回、予め定めた月間に、東京都教育委員会の受験料補助制度を受け、無料で、公益財団法人 日本英語検定協会の実施する、**実用英語技能検定（準1級～3級までの希望する級）**を受験できるようになりました。受験は、外部テストセンターにおける**英検 S-CBT**方式で実施します。これはコンピュータを使った受験方式で、スピーキングを含む英語の4活動の検査を1日で完結し、**英検 CSE** スコアを取得できる検定です。原則、毎週土日に実施しており、かつ1日で試験が完結するため、柔軟に受験日を決めることができます。**3年生は7月に受験し、1、2年生は11月に受験する予定です。**

最後に、学校生活を中心としたメリハリのある生活についてです。充実した学校生活を送るためには、バランスの取れた生活が欠かせません。そのために、次の3点に御留意ください。

- 時間管理：学業、部活動、趣味など、様々な活動をバランスよく行うためには、時間管理が重要です。計画的に時間を使い、効率的に過ごすようにしてください。
- 休息の重要性：適度な休息を取ることで、心身の健康を保つことができます。時にはリラックスする時間を設けることも大切です。
- コミュニケーション：友人や家族とのコミュニケーションを大切にし、支え合うことで、より充実した生活を送ることができます。

皆様の御協力に感謝し、今後も家庭と学校が一体となって子供たちの成長を支えていくことを願っています。何か御質問や御意見がございましたら、遠慮なくお知らせください。

これから、各担当より具体的な話をさせていただきます。本日はよろしくお願ひします。

4 偉人の言葉（その2）

優れた業績を成し遂げ、多くの人々から尊敬される「偉人」の言葉の中には、私たちが力をもらい、前向きになることのできる「名言」がたくさんあります。

私は、常日頃より、生徒の皆さんに「不撓不屈」の精神を身に付けてもらいたいと思っています。「不撓不屈」の意味は、「**どんな困難にも負けず、挫折せずに立ち向かうこと**」です。先日の生徒総会では、体育大会実行委員のメンバーから、今年のスローガンを、「不撓不屈～俺が走れば風が変わる～」に決定したと報告がありました。校長として、生徒の皆さんがこの言葉の意味をよく理解し、自分事として受け止めてくれていることを、とてもうれしく思っています。そこで、今回は「不撓不屈」の精神に関連した偉人の名言を三つほど紹介したいと思います。

The greatest glory in living lies not in never falling, but in rising every time we fall.

人生で最も賞賛すべきは、転落しないことではない。転落しても何度でも立ち上がることである。（※ネルソン・マンデラ）

※南アフリカ共和国の政治家、弁護士。反アパルトヘイト運動に身を投じ、国家反逆罪で 1964 年から 27 年間の獄中生活。1990 年に釈放。アパルトヘイト撤廃に尽力し、1993 年にノーベル平和賞受賞。1994-99 年南アフリカ大統領。感染症により 2013 年没。享年 95 歳。

Success is not final, failure is not fatal. It is the courage to continue that counts.

成功が最終的なことではない。失敗は致命的なことではない。続ける勇気こそ価値があることだ。（※ウィンストン・チャーチル）

※英元首相。第二次世界大戦開戦時に海軍大臣となり、1940 年に首相。1945 年に退任するまでイギリスの戦争を主導。1951 に再任。55 年まで首相を務める。ノンフィクション作家でもあり 1953 年にはノーベル文学賞受賞。脳卒中により 1965 年没。享年 90 歳。

The first and best victory is to conquer self.

最初にして最高の勝利とは自分自身に打ち勝つことだ。（※プラトン）

※古代ギリシアの哲学者。ソクラテスの弟子で、アリストテレスの師。プラトンの思想は西洋哲学の主要な源流。青年期はレスラーとしても活躍し、プラトンという名前はレスリングの師が付けた仇名と言われている。紀元前 347 年没。享年 80 歳。